

眼球運動測定に関する技術

本技術(眼球運動測定)の共同研究パートナーをさがしています。

背景

人間は眼球を一秒間に数回動かし、脳内で情報を再統合することで広範囲の詳細な情報を得ている。眼球運動は視線の移動・停留を繰り返しており、被験者の作業内容によって視線の停留回数・順序が変化するため、眼球運動を測定することで、被験者の作業負荷、興味、見落とし等を知ることが出来る。

本研究では眼球運動に加え、まばたき・瞳孔を測定することで、被験者の認知処理過程（物事を認識し判断し、行動しているか、）を評価することが可能である。

本発明のポイント

- ① 眼球運動とまばたきを計測することで、アンケート調査では反映されない潜在的な認知処理過程を調べることができる。
- ② モニター等に映し出された対象物、被験者の眼球運動、測定装置とを連動させるプログラム開発が可能である。
- ③ USBカメラユニット等を活用することで、比較的ローコストで眼球運動の測定が可能である。
- ④ 頭部運動を制限した状態での測定開発とともに、頭部運動制限を緩和した測定系の開発にも取り組んでいる。

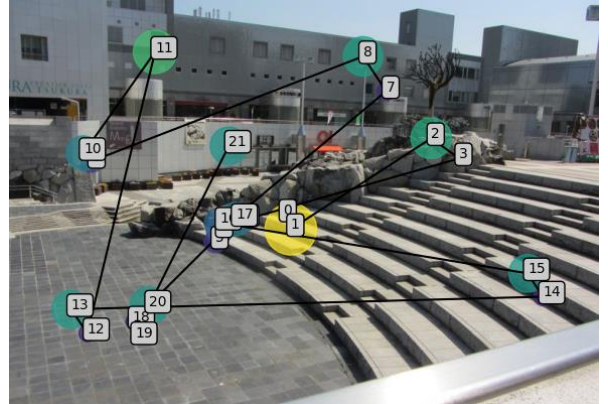


Fig. 1 視線の停留順序(数字)と停留時間(円の直径)

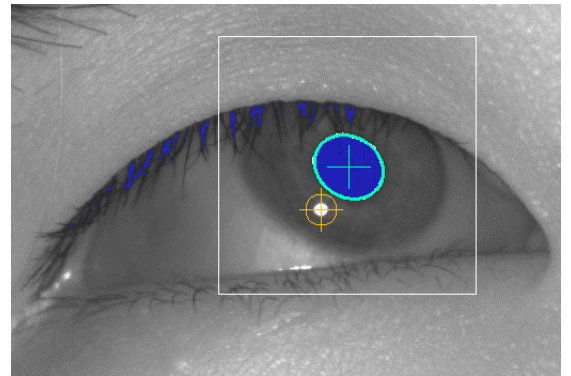


Fig. 2 瞬目(まばたき)と瞳孔の計測

眼球運動測定の応用例

- ・消費者行動/UX評価への応用
- ・車載機器の開発・評価への応用
- ・技術伝承

企業様に求める内容

- ・本研究技術を応用検討できるテーマの提案
※測定方法によって測定条件が異なるため、測定については事前にご相談ください。

ご研究者

研究者：愛媛大学法文学部人文社会科学
教授 十河 宏行

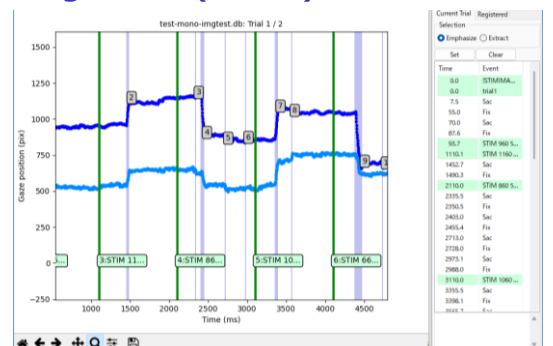


Fig. 3 解析プログラムの一例

Contact

国立大学法人 愛媛大学 社会連携推進機構
コーディネーター 原田 秀治 (四国TLO)
Mobile : 090-5914-4216 E-mail: harada@s-tlo.co.jp
〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番
TEL: 089-927-8819 FAX: 089-927-8820

